

毎日家計簿をつけてお買い物を手エクするもの、なかなか目標の貯蓄額に届かない。そんな場合、固定費の見直しで節約効果がでることがあります。今月号は、固定費の見直しによる上手な節約術をご紹介します。

固定費とは、毎月定期的に支払う費用のことをいいます。具体的には、住宅費、保険料、通信費などが挙げられます。日々の支出の工夫によって節約効果をあげる食費や被服費、生活雑貨費などの変動費と違って、固定費は一度見直せば、年間を通じてその効果が現れるのが大きな特徴です。

固定費は内容を意識しないまま払っている場合が多く、支払って当然ととらえがちです。でも「現在加入している保険は、今の年齢や家族構成に必要な保障額がマッチしているか」、「加入時や機種変更の時からプラン変更をしていないスマホ代は、自分の使用スタイルに合っているか」、「住宅ローンの金利は、高い金

ポイント①

固定費見直しは効果大!

ポイント②

見直しのポイントはライフスタイルの点検!

ポイント③

年に一度は定期チェック!

Let's check!



お金の使い方を見直そう②



固定費見直しチェックリスト

保険料

- 複数の保険の保障内容にダブリはないか
- 子供の成長に合わせて保険金額を考えているか
- 家族のライフプランに合わせて保険を見直しているか

スマホ・携帯代

- 契約時のオプションがそのままになっていないか
- 家族が別の会社と契約していないか
- 使用スタイルに最適なプランを利用しているか
- 使っていないアプリはないか

家賃・ローン

- 契約更新時に家賃の交渉をしているか
- 住宅ローンの金利が以前の高い金利のままになっていないか

Advise

固定費の見直しは早ければ早いほど効果的！
チェックが入った部分は早めに見直しましょう！

利のまま放っていないか」など、その内容を見直してみると、意外に大きな節約につながることも少なくありません。ぜひ、年に一度はチェックしてみましよう！

さらに公共料金などの支払いをクレジットカードに集約すれば、年間でかなりの金額がポイント還元サービスの対象となり、大変おトクですし、管理も楽になります。

変動費や固定費の見直しで、締めるべきところは締め、自分にとって

価値のあることにはお金を使いながらも、着実に貯蓄できるしくみを作る、そんなメリハリの効いた家計管理を心がけましょう！



監修
ときわ総合サービス

<http://www.tokiwa-ss.co.jp/>